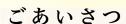


社会福祉法人 宮城厚生福祉会 介護老人福祉施設 田子のまち



施設長 大内 誠

謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、旧年中、施設 運営に皆様よりご支援とご協力を賜りましたこと、厚く御礼を 申し上げます。

特に、新型コロナの状況が長期化する中で、皆様からの暖かなご支援と ご配慮が何よりの支えになっています。ありがとうございます。

昨年の施設の取り組みでは、縁日、ハロウィン、クリスマス、忘年会、 施設全体での映画鑑賞会や地域の児童館・保育園の子どもたちからの動画による 発表会、買い物イベント、感染状況を見ての外出など、入居される皆様との時間を 大切にした取り組みを行ってきました。また、夏には感染発生に備えた訓練を行うなど、感染に 備える取り組みも進めています。昨年12月からショートステイを再開させることが出来ました。 地域の皆様のお役に立てる施設として、役割を果たせるよう努力してまいります。

皆様におかれましても、様々なお身体にご自愛くださりお過ごしください。新型コロナ禍により様々な面でご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

介護保険を巡る情勢では、2024年改定へ向けて、皆様へさらなる負担増となる議論がされておりましたが、多くは見送られる見通しとのことでした。 誰もが安心して暮らせる世の中になるよう願い、皆さまよりお寄せ頂いた 署名も、国会へ届ける活動も今後も進めて参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。









12月より田子のまち ショートステイが再開となりました!

現在は10床からの再開となっております。少人数でゆっくりまったり過ごせる空間作りをしつつ、利用された皆様が楽しく、また、ご家族様が安心できるショートステイを目指して精一杯頑張ります!!

今後も田子のまちショートステイをどうぞよろしくお願い致します。









🤼 インフルエンザ勉強会

感染症対策委員会中心に、インフルエンザについての勉強会を行いました。今年は2023年3月までの間に新型コロナの流行拡大とインフルエンザ流行が同時発生する可能性が高いとされています。インフルエンザ感染を防ぐためには、何よりもまず標準予防策(手洗いや手指消毒、防護具の使用等)を徹底することが大切だと学びました。標準予防策を行うことはつまりコロナの感染予防にもつながっています。引き続き気を引き締めて感染対策を行っていきます。



リスクマネジメントの勉強会

リスクマネジメントの勉強会を開催しました。 リスクマネジメントとは何か?ということを改めて学び、また、ミスが起きる前のヒヤリハット の時点で危険に気づき、それを職員間で共有することが私たちの仕事の中で最も重要だということを再確認できる勉強会となりました。「誰が悪いか」ではなく「何が原因だったか」に注目し、施設全体として事故を防いでいけるよう、対策を講じていきます。



リーダー研修

施設長が講師となり、リーダーの役割について 学ぶ研修を行いました。

2つのグループに分かれていくつかのゲームを 行い、客観的に自分の強みや弱みを見つめ直すことができました。ユニットを運営していく上で、 リーダーだけが頑張ればいいということではあり ません。ユニット職員一人一人がそれぞれの力を 発揮できるようにリーダーが適切な指示を出し、 ユニット全体で同じ方向に向かって互いに成長し 合える関係を築いていくことが大切だと、研修を 通して改めて感じました。

高齢者虐待勉強会

グループホームよもぎ埜の蓬田裕樹先生をお招きし、今回は「ハモンドケア〜認知症の世界を体験しよう」という初めての演習を行いました。職員の声がけや対応の仕方によって、ケアを受ける側の気持ちがストレートに感じられる演習だと感じました。身体拘束や高齢者虐待については、常に学ぶ姿勢を持ち、自分自身を振り返り続けていくことが大切だと思います。当たり前になっているケアが本当にその方にとって正しいケアなのか、これからも考えながらケアを行っていきたいです。



福祉ウェーブに参加して

福祉ウェーブの学習会が行われました。

介護、保育、障害それぞれからの報告では現場での困難事例 や管理者経営する側の困難な状況が報告され、介護の現場だけ ではなく、保育、障害での状況を知ることができました。

また、学習会では署名活動の意義や署名がどのように生かされていくのかを学びました。署名活動の際の声がけを、実際に2人ペアになり行ってみて、足を止めて話を聞いてもらうために、介護の現状をどう伝えればいいのかを考えることができました。今後の署名運動につなげていきたいと思います。



分護実習生 受け入れ



今年度も、専門学校の学生さんが数名来てくださり、田子のまちで実習を行いました。最初は入居者様とのコミュニケーションをどのように図ればいい



のか…と緊張しながらも、入居者様に助けられながら一生懸命関わり、入居者様の笑顔を引き出していました。その姿を見て私たち職員もいい刺激を受けることができました。希望に満ちた学生さんたちと、いつの日か田子のまちで一緒に働けることを願っています。

編集後記

コロナが広がり早3年、いまだ収束の糸口は見通せない状況が続いています。感染対応は継続となりますが、春夏秋冬の移り変わりとともに、その季節を感じられる行事や催しを通して皆様の笑顔をたくさん見られるように、これからも田子のまち全体で盛り上げていきたいと思います。

広報委員/大山諒、板宮由加里、村上理紗、新山彩加、岡本麻未、 細谷愛純、川村媛那、相馬愛実、大沼晴与

介護老人福祉施設 田子のまち

〒983-0021 仙台市宮城野区田子字富里153番 TEL 022-388-9970 FAX 022-388-9980 ホームページ http://www.kou-fuku.or.jp/tago/